

## 事務事業評価調査

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16131
事務事業名	農業農村交流事業				
会計	一般会計		款	6	項
				1	目
					3
総合計画	まちづくりのテーマ 第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	60
	施策目標 移住・定住促進策等の充実強化				
	施策項目 都市との交流の促進				
個別計画					
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	市民や都市住民等		グリーンツーリズム事業（中綱湖へら鮎釣り大会、農家民宿事業等）により、都市住民と地域住民の交流を図り、地域の活性化に繋げていく。		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中綱湖へら鮎釣り大会開催（毎年6月第3日曜日）</li> <li>・中綱湖へら鮎放流事業（毎年11月）</li> <li>・安曇野市、松川村と共同で農家業体験の修学旅行の受入</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		765,162	円	706,263	円	318,746	円
財源内訳	特定財源			円		円		円
	一般財源		765,162	円	706,263	円	318,746	円

  

活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	へら鮎釣り大会開催	回	1	1	0	1	0%	1
②	農家民宿開業数	軒	18	20	20	20	100.0%	20
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	へら鮎釣り大会参加人数	人	71	70	0	80	0%	80
	②	農家民宿泊受入れ数（延べ数）	人	244	298	0	300	0%	300
	③								
	2. 数値で表せない効果（指標①）								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
		普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり		
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり	継続	13
	点数	2	2	2	3	2	2		18
	評価理由	中綱湖へら鮎釣り大会は、全国から参加いただいております。グリーンツーリズム事業の振興に寄与している。へら鮎放流事業により、更なる釣り客増に繋げていく。今年度においては、コロナ禍のため開催延期となった。							

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
へら鮎釣り大会については、年々参加者が減少しており、また、スタッフの高齢化により大会運営が厳しい状況となっている。 農家民宿事業については、信濃大町農家民宿協議会での単独運営が困難な状況であるため、安曇野松川村農家民宿連絡協議会と合同で運営している。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
へら鮎釣り大会は、第20回大会までは引き続き開催し、その後の方針については当該実行委員会で検討することとなった。 農家民宿事業について、コロナ禍が終息した際に、首都圏及び関西方面の商談会に積極的に参加するなど、当該地区のPR活動を積極的に行っていく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16132			
事務事業名	農業振興事業							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	52,53	頁	
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
	施策項目	農地施策の推進						
個別計画	大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画						5	頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	①新規就農者 ②有機農産物生産者 ③農業者			①担い手を育成し安定的な農業経営を図る。 ②慣行栽培との差別化を進め、価値の高い農産物の栽培を推奨する。 ③「人・農地プラン」の作成及び実質化により、地域の担い手と農地の課題解決及び地域活性化に向けた事業の推進				
	主な業務内容 ・青年等就農計画を認定された新規就農者が、農業経営を開始するにあたり毎年150万円を5年間交付。 ・化学肥料や化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援。 ・「人・農地プラン」の作成及び実質化 ・市内全小中学校による学童農園への取組み。							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		16,762,690	29,909,935	15,636,210	円			
財源内訳	特定財源		12,630,363	24,146,724	12,990,693	円			
	一般財源		4,132,327	5,763,211	2,645,517	円			
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	新規就農者（経営開始型）	人	9	11	11	12	91.7%	12
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	環境保全型農業直接支払事業取組面積	a	2,198	2,222	2,284	2,200	103.8%	2,200
	②								
2. 数値で表せない効果 （指標①）									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	2	3	3	3	3	18			
評価理由 ・農業次世代人材投資事業は、資金面だけでなく、県農業農村支援センター、先輩農業者等による技術指導、農業委員会等による農地相談など、様々なサポートにより将来の担い手育成の場として有益である。 ・有機農業は、生物多様性保全や地球温暖化防止等に高い効果を示すことから、環境保全型農業直接支払交付金制度により引き続き支援していく。 ・学童農園は、小中学校の児童生徒に対し農作業等の体験により、自然の力やそれを活かす工夫を学び、生産の苦労、採取の喜び、食べ物の大切さを知る機会となっている。										

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b> 新規就農対策としての農業次世代人材投資事業は、毎年制度変更されているため、対応に苦慮している。現在、農業次世代人材投資事業を活用希望の者が数人いるが、更なる就農希望者の発掘が必要である。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b> 農業次世代人材投資事業は、県北アルプス農業農村支援センター、JA大北及び市定住促進係と連携し、情報交換を密にしながら取り組んでいく。

## 事務事業評価調査

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	16132	
事務事業名	農業振興事業					
会計	一般会計	款	6	項	1	
				目	3	
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	52,53
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				
	施策項目	生産と販売の推進				
個別計画						
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の関心を高め、生産者が生産への誇りを保ちつつ、収益の確保を図る。</li> <li>地域外の消費者に大町の農産物を知ってもらう。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>大町で生産された農産物を大町で消費する地産地消を進める。</li> <li>農産物の宣伝販売活動を展開し、今後の消費につなげることを目的とする。</li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>そばスタンプラリーの開催</li> <li>JA大北の協力による学校給食での地元農産物の利用促進。</li> <li>立川市にある大町市アンテナショップやイベントにおける季節の食材の販売。</li> </ul>					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		1,560,420	1,777,200	610,000	円	円	円	
財源内訳	特定財源								
	一般財源		1,560,420	1,777,200	610,000	円	円	円	
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	そばスタンプラリー	回	1	1	1	100.0%	1	
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	スタンプラリー参加者	人	659	453	550	400	137.5%	500
	②	学校給食出荷日数	日	167	180	180	180	100.0%	180
	③								
	2. 数値で表せない効果								
(指標①)									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		普通	低い	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	2	1	2	3	2	3	やり方改善	13	
									18	
評価理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年で14回目となるそばのスタンプラリーであり、市内外から多くの方の応募があった。また、県外の観光客も立ち寄った店で応募いただいております、市内におけるそばの消費に繋がった。</li> <li>市内全ての小中学校がJAを通して地元産の野菜を利用している。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>地元で生産した農作物を地元で消費するという目的で開催されているそばのスタンプラリー。そばのPRには繋がっているが、期間が限定されるイベントであるため消費面では一時的なものである。継続した消費につながるような普及活動も検討する必要がある。</li> <li>学校給食のように一回の発注量が多い場合、対応できるのはJAのようにある程度の量を集荷できる業者に限られてくるが、JAでは全てが大町市産というわけにはいかない。（大北産というものもある）</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>リピーターになり得る市内・近隣の方に多く応募いただけるよう、</li> <li>地産地消事業実行委員会において、継続消費に繋がる新しい普及活動を検討する。</li> <li>園芸品目の生産農家が増えるように、JAと連携して農家に呼び掛けていく。</li> </ul>

## 事務事業評価調査

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係	事務事業No.	16133		
事務事業名	農業マーケティング事業						
会計	一般会計		款	6	項		
				1	目		
				3			
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	52	頁
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興					
	施策項目	生産と販売の推進					
個別計画							頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸出を志向する農産物及び農産物を主原料にした加工品の生産者</li> </ul>			新たな輸出促進のための取り組みを支援し、多様な販売システムを確立するとともに、農産物及び地域のブランド力の向上を図り、当市の経済の活性化を目指す。			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物等における輸出研究会の開催</li> <li>大田市農産物等輸出協議会の設立</li> <li>輸出事業者と事業者とのマッチングによる特産品の輸出</li> </ul>						

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		円	231,164	円	円		
財源内訳	特定財源		円	200,000	円	円		
	一般財源		円	31,164	円	円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	研修会の開催	回	1	0	1		2
	②							
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	輸出事業取組者数	事業者	1	5	2	250.0%	7
	②							
2. 数値で表せない効果								
(指標①)		※成果指標①は本事業を通じた取組者数を記載						

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	普通	高い	一部重複	普通			
点数	3	2	3	2	2	3	18			
評価理由	今後、人口の減少に伴い国内における食料消費量が減少する可能性も考えられ、農家の所得確保も大きな課題となっている。反面、海外市場においては、和食の広がりなど市場が拡大する状況が展望され、農産物をはじめ加工品等の生産者を取り巻く状況は大きく変化してきている。今後、農業所得の維持向上を図るため、農産物の多様な販路を確保することが重要であると考えられることから、輸出を将来を見据えたひとつの販路と考え、新たに輸出事業に挑戦する人材の育成と新たな販路の確保必要がある。									

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
輸出事業における理解促進と輸出相手国における規制等の理解を深めるとともに、市内事業者と輸出事業者とのマッチングによるビジネス展開が必要である。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
輸出事業を実施するためには、事業者が輸出相手国における規制等、輸出への理解を促進するとともに、市内事業者と輸出事業者とのマッチングが必要であることから、行政、生産者（市内事業者）、輸出事業者がそれぞれの役割を持ち事業を推進するため、行政と市内事業者による大田市農産物等輸出協議会を設立し、海外でのPR等による販路の維持・確保や輸出への理解促進のための研修会等を開催する。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16134		
事務事業名	農業経営基盤強化推進事業						
会計	一般会計		款	6	項		
				1	目		
					3		
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	53	頁
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興					
	施策項目	農地施策の推進					
個別計画							
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	認定農業者の運転資金等の借入利子の負担軽減及び農業経営の改善			認定農業者へ農地を集積し、農地流動化を図るとともに、農地の有効利用と担い手農家を育成し効率的・安定的な農業経営を目指していく。			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営基盤強化資金（スーパーL）と農業近代化資金の融資残高に対し、一定の率を乗じて補助金を交付。</li> <li>新規に農地の利用権設定を受けた認定農業者に、面積に応じた奨励金を交付。（10aあたり6,000円、10aに満たない場合、10aあたり8,000円）</li> </ul>						

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総事業費（決算額）			1,182,227 円	1,507,053 円
財源内訳	特定財源		121,840 円	84,901 円	42,098 円
	一般財源		1,060,387 円	1,422,152 円	1,200,929 円

  

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	農業経営基盤強化資金助成件数	件	6	6	5	5	100.0%	5
②	農業近代化利子補給件数	件	8	4	1	1	100.0%	1
③	担い手育成奨励金交付件数	件	15	17	14	20	70.0%	20

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	認定農業者への流動化面積	a	653	1,345	1,113	1,000	111.3%	1,000
	認定農業者数	人	88	88	83	90	92.2%	90
2. 数値で表せない効果 (指標①)								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である		
点数	2	2	2	3	2	3	18		
評価理由	農業経営基盤強化資金助成及び農業近代化利子補給により、認定農業者等の経営改善に寄与している。 農地流動化担い手育成奨励金により、農地の有効利用、認定農業者等の経営改善及び当該者への農地集積に寄与している。								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b> 農業経営基盤強化資金・近代化資金関係は、実質無利子化や低金利情勢に鑑み、県が平成26年度から新規の利子助成を廃止したことから、市も同様に廃止とした。28年度より農地流動化推進事業との統合が図られた。 認定農業者について、高齢化等により減少傾向にある。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b> 制度資金の助成は、メニュー等精査し効果的な方法を模索する。 担い手育成奨励金は、周辺市町村の状況を鑑み、国等の制度で振り替えられるものがないか研究していく。 認定農業者の減少対策として、認定新規就農者に対して、認定農業者へのステップアップに繋がられるよう、県、JA等の関係機関と連携しながらサポートしていく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16136
事務事業名	中山間地域等直接支払事業				
会計	一般会計		款	6	項
				1	目
					3
総合計画	まちづくりのテーマ 第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	53
	施策目標 地域の特性を生かした農林水産業の振興				
	施策項目 農地施策の推進				
個別計画	大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画				5
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	中山間地域における農地保全、水源涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進		耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続可能な農業生産活動の維持を目指す。		
主な業務内容	中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持管理していくための活動に対し、面積に応じた額を交付 第5期対策期間 急傾斜地 田1/20以上 畑15°以上 10aあたり（田21,000円 畑11,500円） 緩傾斜地 田1/100~1/20 畑8°~15° 10aあたり（田8,000円 畑3,500円）				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総事業費（決算額）			13,281,251 円	13,090,387 円
財源内訳	特定財源		9,369,485 円	9,359,485 円	8,625,002 円
	一般財源		3,911,766 円	3,730,902 円	3,507,549 円

  

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	実施団体数	集落	16	16	14	16	87.5%	14
②								
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	実施面積	a	7,895	7,895	6,640	8,000	83.0%	8,000
②								
③								
	2. 数値で表せない効果 (指標①)							

### 【事業の評価】

項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である	継続	17	
点数	3	2	3	3	3	3			18
評価理由	当該事業により、組織等の地域共同活動、地域資源の維持管理が適切に行われ、水源涵養、自然環境の保全、良好な景観形成が図られている。 第4期対策期間終了と同時に、2集落が（大町1、八坂1）構成員の高齢化等により活動を終了している。								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b> 内容によって加算措置等があるが、活動している集落において、活動組織の構成員の高齢化等により現状維持が精一杯であり、また、役員及び耕作者の後継者不足が懸念される。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b> 荒廃地を増やさないため、現在活動している組織が引き続き活動できるよう、支所と連携して対応していく。 集落の役員不足の解消のため、広域化の検討を進める。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16137			
事務事業名	多面的機能支払事業							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	53	頁	
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
	施策項目	農地施策の推進						
個別計画	大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画						5	頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	農業者等が共同で取り組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援する。			農地の多面的機能の維持増進を図る。				
主な業務内容	各組織の農用地の維持管理、地域住民との共同活動（植栽等）、水路及び農道等の施設の老朽化等に対する補修及び更新に対して、面積に応じた額を交付している。 ○基本単価 農地維持支払 田3,000円 畑2,000円（10aあたり） 資源向上支払（共同活動・5年未経過等）田2,400円 畑1,440円（10aあたり） （共同活動・5年未経過等）田1,800円 畑1,080円（10aあたり） （長寿命化）田4,400円 畑2,000円（10aあたり）							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		116,066,264	円	122,263,374	円	112,329,255	円	
財源内訳	特定財源		87,221,872	円	92,026,765	円	84,385,434	円	
	一般財源		28,844,392	円	30,236,609	円	27,943,821	円	
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	実施団体数	組織	34	33	30	33	90.9%	30
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	実施面積	ha	1,572	1,587	1,593	1,575	101.1%	1,593
	②								
2. 数値で表せない効果 (指標①)									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	2	3	3	3	3		18		
評価理由	当該事業により、組織等の地域共同活動、地域資源の維持管理が適切に行われ、水源涵養、自然環境の保全、良好な景観形成が図られている。 事務の煩雑化や役員不足等の理由から、令和元年度終了時に八坂地区の3組織が活動を終了している。									

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b> 全国的に交付金額が足りない状況になってきており、県の配分も長寿命化の予算で調整され満額交付とならない状況にある。 事務処理が煩雑化しており、役員の高齢化が進んでいる組織では役員の後継者不足が懸念される状況にある。 農振農用地区域外農用地（白地）を対象農用地とする場合の取扱いについて、承認されるまでかなりの時間を要することから、活動組織と綿密な打合せ等が必要となる。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
国の制度設計の変更等に注視し、内容変更等については早めに示すよう働きかけていく。 国へ事務処理の簡素化の要望、組織が事務処理を外部への委託も検討できるよう委託先の発掘・抽出をしていく。 広域化の検討も進めていく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	16138			
事務事業名	農業推進支援センター事業							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	52、53	頁	
計画	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
個別計画	施策項目	生産と販売の推進						
事務事業の目的	対象（誰を・何を）	担い手となる認定農業者や農業法人にはその規模に合った国の支援を活用できるよう支援し、小規模農家や高齢者農家には、市独自の支援策を講じる。			意図（どういう状態にしたいのか）			・大田市地域農業再生協議会の事務局として、水田農業政策の推進を図り、適正生産の目安値を達成する。 ・担い手への農地集積、農作業の受委託促進により農地の有効活用と遊休荒廃地とならないよう維持保全を図る。
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米の需給調整の実施を行い、米政策における経営所得安定対策の推進や、地域の特性に応じた水田農業の仕組みづくりに取り組んでいる。</li> <li>・農地中間管理機構を通じて、農産物を産地化できるよう農地を集約し、効率的な農業の推進に取り組んでいる。</li> <li>・遊休荒廃農地を増やさないよう、担い手農家に一部農作業受託をしていただき、農地の維持保全を補助事業として取り組んでいる。</li> </ul>							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		27,400,558	円	25,918,932	円	28,672,481	円
財源内訳	特定財源		11,443,679	円	10,417,000	円	15,196,000	円
	一般財源		15,956,879	円	15,501,932	円	13,476,481	円

  

活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	経営所得安定対策交付金申請	件	415	367	85	400	21.3%	300
②	農地中間管理機構申請数	件	63	70	51	50	102.0%	50
③	農作業維持体制構築事業補助金交付数	件	41	43	33	40	82.5%	35

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	農地中間管理機構集積面積	ha	39.7	39.6	69.7	62.0	112.4%	21
	農地中間管理機構利用権設定者数	人数	63	70	51	60	85.0%	50
	米の適正生産							

2. 数値で表せない効果  
 （指標③）米の適正生産に関して、大田市の最終生産確定数量は8,776 t となり、農業者や農業者団体が主体となって目標を達成することができた。

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	普通	普通	重複なし	普通			
点数	3	2	2	3	2	3	18			

評価理由  
 ・経営所得安定対策により農業経営の安定を図っている。  
 ・国や県が示す米の適正生産目安値を達成している。  
 ・農地中間管理事業により、農用地の有効利用及び農業経営の効率化と高度化の促進を図っている。

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々米の需要量が減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染拡大により需要量が急落し、米の適正生産及び適正価格保持が課題である。</li> <li>・担い手への集約化と農地の効率的な利用を促進しているが、大型農作業機械が入らない耕作条件の悪い農地の取り扱いが課題となっている。</li> </ul>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県から示される主食用米生産目安値を、出荷農家すべてへ情報提供し、営農計画の段階から目安値を達成できるよう、わかりやすく伝える。併せて転作相談も行っていく。</li> <li>・引き続き、小規模農家や高齢者農家が継続作付けできるよう、収益の確保策として直売所等で販売する少量多品種の園芸作物の生産や園芸重点推進品目の生産について、JAなど関係団体と連携を図り検討を進め、農地放棄地を作らないよう支援していく。</li> </ul>



## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16139	
事務事業名	遊休農地荒廃防止事業					
会計	一般会計		款 6 項 1 目 3			
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	53 頁
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				
	施策項目	農地施策の推進				
個別計画						
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	遊休農地の荒廃地化を防止。			景観形成作物等の作付けにより農地の有効利用転換を図る。		
主な業務内容	生産団体や農業コミュニティ組織が遊休農地の解消及び維持管理を行うための経費に対して3/4以内（7万円/10aあたり上限）の補助金を交付					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	総事業費（決算額）	516,120 円	1,180,000 円	0 円					
	財源内訳	特定財源	円	円	円				
		一般財源	516,120 円	1,180,000 円	0 円				
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	取組数	件	2	2	0	3	0%	2
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	面積	m <sup>2</sup>	8,487	17,844	0	10,000	0%	10,000
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果								
(指標①)									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続
	点数	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である				
		3	2	3	3	2	3	18			
評価理由	<p>当該事業の実施により、遊休農地の荒廃化が防止されるとともに、景観形成作物等の作付けによりすばらしい眺望となっている箇所が増えている。</p> <p>今年度実績なし（事業を予定していた組織の構成員の都合により、事業が来年度に延期されたため）</p>										

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
農地の荒廃化が微増しているなか、防止対策として当該制度の活用を検討している農家が増えている。中山間地の鳥獣害の多い農地が荒廃化する傾向があるため、有害鳥獣対策と連動していく必要がある。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
毎年農業委員会で農地パトロールを実施し、荒廃化しそうな農地の情報収集していることから、土地所有者に対し当該事業を活用してもらうよう働きかけていく。また、有害鳥獣被害の多いエリアにある遊休農地を把握し、鳥獣の住処になりそうな農地については、土地所有者に対し当該事業を活用してもらうよう働きかけていく。市定住促進係と連携し、就農希望の移住者に対し、遊休農地等の利活用について提案していく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16151			
事務事業名	たかね市民農園管理費							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	5
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	53	頁	
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
	施策項目	農地施策の推進						
個別計画								頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地を希望者に貸付</li> <li>農業未経験者等に対し、野菜づくり教室を開催</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>潤いのある農園づくりを目指す。</li> <li>野菜づくりにより、農業を楽しんでもらい、就農へのきっかけづくり、生きがいつくりにつなげていく。</li> </ul>				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>借り受けた農地を希望者に貸し付け（83区画4,269㎡）</li> <li>教育ファーム事業農地を活用した「たのしい野菜づくり教室」を開催（14回）</li> </ul>							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		399,691 円	422,756 円	494,991 円	達成率	次年度（R3）		
財源内訳	特定財源		229,520 円	229,120 円	224,720 円				
	一般財源		170,171 円	193,636 円	270,271 円				
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	野菜づくり教室開催	回	14	14	14	14	100.0%	14
	②	野菜づくり教室参加者	世帯	33	32	29	32	90.6%	32
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	貸付区画	区画	59	55	56	62	90.3%	62
	②								
2. 数値で表せない効果		（指標①）野菜づくり教室でノウハウを受けた受講者が、市民農園を借り受けた後、更に農園の区画を増やした事例や、一般の農地を借りた等の事例もあり、就農へのきっかけづくりにつながっている。							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である	継続	16
点数	3	2	2	3	3	3	18		
評価理由		野菜づくりにより、就農へのきっかけづくり、生きがいつくりにつながっている。							

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
教育ファームの教室で、野菜づくりのノウハウを受けたことで、市民農園借り受けまで発展しているケースもあるため、農業への入口のきっかけづくりとなっている。最近が高齢化等の影響もあり、農園の借受希望者が減少してきており、農園の維持管理に苦慮している。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
農園借受希望者が減少傾向にあるため、定住、移住促進のイベントとして、移住定住者向けの区画の準備について検討していく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	森林振興係	事務事業No.	16312	
事務事業名	林業振興一般経費					
会計	一般会計		款 6 項 3 目 1			
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	54 頁
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				
	施策項目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化				
個別計画						
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	市内の森林 市民			みどりのふれあい促進、みどり教育の推進、薪ストーブ等に対する助成による木質バイオマスエネルギー推進と間伐の促進による健全な森林を育成する。		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みどりの少年団活動など森林体験事業（植樹祭、育樹祭等）を通じた森林や緑とのふれあい促進支援</li> <li>○「木のぬくもりプレゼント」として県産材つみきを幼児に贈り木育を推進</li> <li>○県産材を使用した玩具を製作し保育園、児童センター等に設置</li> <li>○薪ストーブ等の導入補助（1台10万円を限度）</li> <li>○森林所有者等が行う間伐等に要する経費の負担軽減を図るため補助金の嵩上補助（査定事業費等の5%以内）</li> </ul>					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		3,956,425 円	2,540,408 円	5,328,930 円			
	財源内訳	特定財源	1,276,500 円		1,735,600 円			
一般財源		2,679,925 円		2,540,408 円	3,593,330 円			
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	薪ストーブ等への補助金交付	6	3	10	10	100.0%	10
	②	木のぬくもりプレゼント	146	128	146	150	97.3%	165
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	間伐実施面積	40.03	29.22	33.49	120.00	27.9%	120
	②							
	③							
	2. 数値で表せない効果 （指標①）							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	2	3	2	3		18		
評価理由	<p>「木のぬくもりプレゼント」については幼児を対象に配布しているとともに、保育園等への積み木の貸し出しにより木にふれる機会を増やし木育活動の充実を図っている。</p> <p>また、薪ストーブの購入補助を実施、木質バイオマスエネルギーの促進を図っている。</p> <p>森林整備における間伐事業を促進させるため、国・県の補助事業を導入して行う間伐事業について、査定事業費等の5%の補助を実施している。</p>									

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
令和2年度薪ストーブの補助金については、広報等の周知効果もあり実績が目標に届いた。今後申請者が増えた場合、どのように対応していくか検討する必要がある。
森林整備については、平成31年度より新たな森林管理制度が始まったことから、今後、この制度に基づき整備を推進していく必要がある。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
今後も広報おまち及びホームページにおいて周知を行っていく。
森林整備については新たな森林管理制度により整備を進める。大北5市町村の連携自立圏で事業の推進方法等を検討していく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	森林振興係	事務事業No.	16316			
事務事業名	松林健全化推進事業							
会計	一般会計		款	6	項	3	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	54	頁	
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
	施策項目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化						
個別計画								頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	松枯れの被害木について、被害拡大を防ぐための伐倒くん蒸処理等を行う。			健全な森林の維持と多面的・公益的な機能の保持のため、森林における松くい虫による被害拡大を防ぎ、地域の財産である森林資源を保全する。				
主な業務内容	被害木を早期発見し、伐倒くん蒸処理等により適正処理を行い被害拡大を防ぐ。							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		23,434,196 円	20,793,956 円	16,263,209 円				
財源内訳	特定財源		19,257,300 円	16,760,600 円	10,329,300 円				
	一般財源		4,176,896 円	4,033,356 円	5,933,909 円				
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	空中散布	ha	3	3	3	3	100.0%	3
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	伐倒駆除処理	m <sup>3</sup>	843	689	556	600	92.7%	570
	②								
2. 数値で表せない効果		（指標①）被害拡大を防ぎ、当地域の財産である北アルプスと緑の森林の景観を守ることにもつながっている							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	適正である	継続	16
点数	3	3	3	3	1	3	18		
評価理由	松の枯損木については、伐倒くん蒸処理及びチップ化等により処理している。また、森林以外の神社等の枯損木についても、被害拡大を防ぐため処理している。松の枯損木については可能な限り処理しているが、毎年、新たな木に発生することから処理が追い付かない状況にある。								

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
松の枯損木については伐倒くん蒸処理及びチップ化等により処理しているが、抜本的な対策とはなっていない。また、神社、公園等の森林以外の被害木についても、周辺への被害拡大につながるため処理しているが、近隣に建物等が存在しているなど、重機等を使用しなければならない場合が多いことから、森林内での処理に比較して事業費が高く、限られた予算の中ではなかなか処理が進まないことが課題である。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
松くい虫の被害木については、市内全域に広がりを見せており、神社や公園等の森林以外での被害木もあることから、今後も被害状況を確認するとともに、国及び県の補助事業を活用するなど財源を確保ながら処理を進めていきたい。また、現在、実施している対策に加え、新たな森林管理制度等を活用しながら、松林から天然林などへの更新を検討する必要がある。

# 事務事業評価調査

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	161310			
事務事業名	園芸振興事業							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	52	頁	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興							
施策項目	生産と販売の推進							
個別計画								
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	販売目的で園芸作物の生産拡大に取り組む農業者や団体に対して支援を図る。			園芸作物の生産振興と、生産拡大を図る。				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹改新植事業</li> <li>・園芸生産機械整備事業</li> <li>・地域特産加工事業</li> </ul>							

## 【事務事業の実績】

事業費	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	総事業費（決算額）	4,385,808 円	8,106,665 円	3,028,583 円					
	財源内訳								
	特定財源								
	一般財源	4,385,808 円	8,106,665 円	3,028,583 円					
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	りんごオーナー事業	本	314	309	0	280		100
	②	果樹改新植事業	本	1,469	1,173	1,485	3,290	45.1%	1,500
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	りんごオーナー事業							
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果									
（指標①）これまで受け入れ可能数が減少していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、りんごオーナー事業を中止せざるを得なかった。									

## 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	やり方改善		14	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通			改善の余地あり	18
点数	3	2	2	3	2	2				
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹については、定植後、出荷できるまでは数年かかるため、安定した収入を得るために時間を要する。また、苗木の費用や設備費用など初期費用が高額になるため、苗木の補助などによる初期費用の軽減は有効な施策となっている。</li> <li>・国の補助事業は大規模農家優位の採択構造になっているため、市単独の補助事業にて国事業の採択が難しい農家へも支援を行い園芸振興が図られている。</li> </ul>									

## 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
<p>・栗については、組合を組織し産地づくりに向けた活動を行っており出荷できる年になってはきたが、十分に生育していない圃場もあり産地化までは至っていない。</p> <p>・水田農業が根付いた当地域において、園芸作物のように費用が掛かるものや作業が大変なものは敬遠される傾向にあり、産地化までは至っていない。</p> <p>・令和2年度についてはコロナ禍の影響により中止となったが、りんごオーナー事業の現状は、受け入れ数8～9割をリピーターが占めている。また、毎年、関東圏と中京圏に宣伝を行っているため、新規希望者は増加傾向にある。その一方でキャパシティの関係で新規希望者の受け入れを断る状況が続いている。</p>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定植後3年経過した苗木の補助を行った圃場について、その後の生育や収穫状況の現地確認を行った。次年度以降も継続していく。</li> <li>・JA大北や生産者と連携し、園芸作物重点品目を中心に、地域の特産振興としてだけでなく、農業所得向上策の一つとして生産拡大を図っていく。</li> <li>・りんご園主事業部会としても受入可能数の確保に取り組んでいるため、コロナ禍以降に向けて、引き続き事務局への経済支援や農業者に対するりんごわい化樹の改新植等の支援を行う。</li> </ul>

## 事務事業評価調査

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係	事務事業No.	161311			
事務事業名	有害鳥獣対策事業							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	53	頁	
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
	施策項目	生産と販売の推進						
個別計画	大町市鳥獣被害防止計画							頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民			サル、シカ、イノシシ、クマ、カラス等の野生鳥獣による農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵設置、緩衝帯の整備等による対策強化</li> <li>○県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数調整</li> <li>○モンキードッグの育成</li> <li>○猟友会員など鳥獣被害対策者の育成</li> </ul>							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度			
	総事業費（決算額）		19,330,848 円	19,543,329 円	20,430,372 円	達成率			
財源内訳	特定財源		518,344 円	929,274 円	2,984,344 円	次年度（R3）			
	一般財源		18,812,504 円	18,614,055 円	17,446,028 円	目標値			
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	有害鳥獣駆除委託（猟友会）	支部	6	6	6	6	100.0%	6
	②	農作物被害調査	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	侵入防止柵設置補助金	千円	3,490	3,332	3,401	3,600	94.5%	3,000	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	有害鳥獣駆除数	頭、匹、羽	455	422	587	3,040	19.3%	3,040
	②	農作物被害額	千円	9,326	7,709	6,018	7,500	124.6%	5,500
③	侵入防止柵設置距離	メートル	8,681	10,492	8,065	10,500	76.8%	7,500	
2. 数値で表せない効果									
(指標①)									

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である			
点数	3	3	3	2	2	3	18			
評価理由		猟友会、JA、自治会長等が構成員となっている市有害鳥獣被害防止対策協議会が事業主体となり、平成23年度から国の交付金事業を活用した侵入防止柵を地元自治会と連携し設置している。柵の設置や追い払い、駆除等の総合防除により、農作物被害額は減少傾向であるが、依然として、出没情報が報告されているほか、二ホンジカ等の被害についても報告されており、農作物被害が生じることで、離農による遊休荒廃農地の増加につながる懸念されるとともに安定した農業生産を行うためには、有害鳥獣対策を強化し農業被害を減少させる必要がある。								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
特に、サルについては、農作物被害のほか、宅地等へのいん言など、生活環境面への被害報告もあり、対策を強化する必要がある。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
令和2年度より、有害鳥獣対策強化事業として、サルの捕獲圧を高め、農作物への被害を軽減させるため対策を強化したことから、今後も引き続き、侵入防止柵の設置や追い払い等の従来の対策とともに捕獲数を増加する取り組みをすすめていく。

## 事務事業評価調査

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係	事務事業No.	161312			
事務事業名	有害鳥獣対策強化事業							
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	53	頁	
	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
	施策項目	生産と販売の推進						
個別計画	大町市鳥獣被害防止計画							頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民			サルによる農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。				
主な業務内容	○サルの追い払い、捕獲強化 ○県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数調整							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		円	円	円	円	6,738,619	円
財源内訳	特定財源		円	円	円	円	5,340,000	円
	一般財源		円	円	円	円	1,398,619	円
活動指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	二ホンザル捕獲数	頭		300	300	100.0%	300
	②	（有害鳥獣駆除頭数のうち）						
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	二ホンザル農作物被害額	千円		941	1,500	159.4%	900
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果（指標①）								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	適正である			
点数	3	3	3	2	3	3	18			
評価理由	サルの捕獲圧を高めるため会計年度任用職員を1名増員し、猟友会と市の職員との連携をさらに強化し、サルの出没情報が入った場合は即座に各支部猟友会と連絡を取り駆除を行うよう取り組みを進めた。また、今までのテレメトリーに加え、県の元気づくり支援金を活用しサルの位置情報を地図上で把握できるGPSシステムや遠隔操作で捕獲可能な大型捕獲檻といったICTを活用した追い払いや捕獲にも取り組んだ。特に、大型捕獲檻での効果的な捕獲方法を模索し、1回の捕獲で20～30頭程度の捕獲を行うことができるようになったほか、猟友会との連携をさらに強化し、銃や小型檻での捕獲にも力を入れ年間捕獲許可数である300頭を捕獲することができ農作物被害の軽減につながった。									

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
GPSでの位置把握と遠隔操作で捕獲可能な大型捕獲檻とを組み合わせた捕獲や追い払いを実施するとともに、猟友会との連携をさらに強化し、銃や小型檻での捕獲にも力を入れ効果的な捕獲を実施できたが、今後も引き続き効果的にサルを捕獲できる方法を工夫し確立していく必要がある。
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
GPSやテレメトリーのほか、住民からの目撃情報により群の出没位置の把握に努めるとともに、効率的に捕獲できる大型捕獲檻等の設置場所の確保や効果的な追い払いを行うため、地域住民と協力しながら対策を進めていく。

## 事務事業評価調書

担当課	産業観光部	農林水産課	森林振興係	事務事業No.	163112			
事務事業名	森林環境譲与税事業							
会計	一般会計		款	6	項	3	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	54	頁	
計画	施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						
個別計画	施策項目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化						
事務事業の目的	対象（誰を・何を）	地域の森林等		意図（どういう状態にしたいのか） 森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材利用の促進その他森林の整備の促進に関する施策に活用し、森林整備を進める。				
主な業務内容	森林環境譲与税基金への積み立て							

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		円		円		円	
財源内訳	特定財源		円		11,926,000	円		28,818,474
	一般財源		円		11,926,000	円		28,818,474

  

活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	基金積立	千円	—	11,926	25,353	—		—
②	森林基本情報整備事業	千円	—	—	3,465	—		—
③								

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①								
②								
③								
2. 数値で表せない効果 （指標①）新たな森林経営管理制度に基づき実施する森林整備や普及啓発など、活用方法を検討しているため基金に積み立てている。								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である	継続	16	
点数	3	2	3	3	2	3	18			
評価理由	わが国の温室効果ガス削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国により令和6年から課税される森林環境税及び平成31年から県及び市町村に譲与される森林環境譲与税が創設され、令和元年度より森林環境譲与税が譲与された。今後、本市における森林整備を進めるための財源として活用していく。									

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
森林整備をどのように整備していくかを検討するとともに、林務の専門的な人材の確保が必要である。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
北アルプス連携自立圏の枠組みにおいて、大北5市町村が共同で森林経営管理制度等の広域による効率的、効果的な利用方法を検討していく。